



☆☆ ☆特集記事



◆◆◆浜松市「まちなかオープンテラス」の取り組み◆◆◆

(浜松市 産業部 産業振興課)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、当市の中心市街地においても例外ではなく、飲食店・物販店を中心に大きなダメージを与えており、感染拡大を防止しつつ落ち込んだ経済の回復を図らなければならない状況にあります。本市では、感染拡大防止に資する工事費等の助成や安全・安心な飲食店を認証する制度など様々な支援を実施していますが、本稿では、これら支援策のひとつである「まちなかオープンテラス」についてご紹介します。



☆☆ ☆道路占用Q&A



◆◆◆新型コロナウイルス感染症の影響に対応するための

道路占用特例制度について◆◆◆

(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

国土交通省では、新型コロナウイルス感染症の影響に対応するため、道路占用料の納入期限の延長措置や、飲食店等を支援するための緊急措置として、地方公共団体と地域住民・団体等が一体となって取り組む沿道飲食店等の路上利用の占用許可基準を緩和することとしました。

本稿では、当該特例制度について解説いたします。



☆☆ ☆TOPICS I ○○○。..○○○。



◆◆◆「ワンストップ型 ETC」導入に向けた社会実験について◆◆◆

～「ETC 多目的利用サービスの拡大」に向けたキャッシュレス決済への取り組み～

(神奈川県道路公社 事業企画部)

現在、高速道路会社等が運用する ETC システム（以下「ETC システム」という。）の利用

は9割を超えているが、ETCシステムの設置には導入費用が高価なことなどが課題となり、地方道路公社の管理する有料道路では普及が進んでいない。神奈川県道路公社では、ネットワーク型 ETC 技術を活用し、機器構成を必要最低限にすることで、導入費用を ETC システムより大幅に縮減した ETC 多目的利用サービスを有料道路に導入する全国初の試みを進めており、この取り組みについて紹介する。

「 「 「 「

「 「 ☆TOPICSⅡ ○○○。.. ○○○。

.....

◆◇◆「道路ふれあい月間」における道路愛護団体等の国土交通大臣表彰について◆◇◆

(国土交通省 道路局 総務課)

国土交通省では「道路ふれあい月間」(8月1日～8月31日)にあたり、多年にわたり道路愛護の活動を行うなど、功績のあった民間の団体または個人に対して、感謝状を贈り、表彰することとしています。

本稿では、令和2年度に表彰された100団体、個人5名について紹介します。

「 「 「 「

「 「 ☆地域における道路行政に関する取り組み事例

.....

★中村宿毛道路全線開通★°・*:.。

中村宿毛道路の事業概要と整備効果

(国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所)

中村宿毛道路は、四国の高速道路ネットワークである「四国8の字ネットワーク」の一部として四国横断自動車道と接続する自動車専用道路と、四万十市街地の交通混雑を緩和する一般道路からなり、四万十市～宿毛市間の円滑な交通確保と道路冠水などによる通行止めの解消、四万十市内の渋滞の解消を目的とする事業です。本稿では、当該道路の事業概要と整備効果についてご紹介します。

.....

★岐阜県における道路施設の効率的な維持管理の取り組みについて★°・*:.。

(岐阜県県土整備部道路維持課)

岐阜県では、効率的な道路の維持管理に向けた取り組みとして、地域に密着した維持管理

の専門技術者である「社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）」の養成と活用を図るとともに、地域住民が道路の維持管理に参加する「社会基盤メンテナンスサポーター（MS）制度」や「ぎふ・ロード・プレーヤー事業」を推進しています。本稿では、これらの取り組みについて紹介します。

.....

★大野町における「道の駅」での取り組み事例の紹介★°・*∴

－ 地域振興活性化の拠点としての道の駅のあり方 －

（岐阜県大野町 産業建設部 観光企業誘致課）

大野町では、道の駅を整備するにあたり、地域の活性化を考え、構想段階から、地元事業者や生産者、商工会、地域住民などを募り、道の駅に求められる機能を議論し合い、本町の抱える課題を解決し、道の駅を核とした多機能で新たな可能性を持つ施設を目指すことといたしました。そこで、本町が取り組みを実施した事案について紹介いたします。

「 「 「 「 _____

「 「 ☆編集後記

.....

夏の夕方、歩道に椅子を持ち出し、涼をとっていた祖父の姿をふと思い出しました。わたしもやってみようと考えていたとき、ちょうどペルセウス座流星群の活動時期と重なりました。活動が極大を迎えるという8月12日の夜、椅子に腰かけ空を見上げてみましたが、夕方の豪雨の影響で曇天であったことから、残念ながら、星の輝きすら確認することができませんでした。

流星は、宇宙空間に浮遊しているチリが、地球の大気に入ることによって光る現象です。彗星の本体や尾に含まれる小さなチリが大元となっています。流星には、宇宙空間に散在したチリが降ってくる「散在流星」、惑星より明るい流星である「火球」などの種類があります。なかでも、「流星群」の流星は、彗星が通った道筋にばらまかれたチリの中や近傍を地球が通過したとき、地球に多く飛び込んで見えるものとなります。群れ飛ぶように見えることから流星群と呼ばれています。彗星の通る道筋の幅が広く大きい彗星である場合、チリの量が多いことから、地球がその道筋を通過するときに流星群の出現がピークを迎えるそうです。ペルセウス座流星群は見逃してしまいましたが、10月21日には、有名なハレー彗星が母天体となっているオリオン座流星群が観測できるとのことなので、晴れてくれることを願っています。

最近の夏は、夕方になっても気温が下がらない日が多く、祖父のように道端で涼をとる方も見かけなくなりました。一方で、コロナ禍の新しい生活様式として、条件はあるものの、テラスでの飲食提供等が可能となり、いろいろな地域でオープンカフェが展開されるようになりました。私の住む街ではまだ展開されていないようですが、星空観賞ができるオープンカフェがあったら素敵だなあと、個人的に思っているところです。立地環境や制度的な課題などもあると思われるので、実現は難しいかもしれませんが、星空を見ていると不思議と心が落ち着きますので、しばらくは自宅での鑑賞を楽しみます。(U)